

平成26年 衆議院小選挙区選出議員選挙(香川県第2区)候補者選挙公報

12月14日執行

香川県選挙管理委員会

景気回復と香川創生

みなさまのおかげで2年前、国政に迷って頂きました。この2年間、地域を歩き、みなさまの声を一つ一つお聞きして参りました。そして、できることを一つ一つ着実に実行することを目指して参りました。

今、日本に一番必要なのは地方創生です。香川の創生に全力を傾注いたします。

道半ばの「アベノミクス」を前進させ、地方でも実感できるような日本経済の活性化に取り組めます。

せと隆一

取り組む課題

- ①「地方創生」によって地域の活力を取り戻します。
- ②一日も早く「アベノミクスを地方でも実感」できるようにします。
- ③中小企業や農業・漁業を支援し、「地方に働く場所」を創ります。
- ④「高齢者が安心して暮らせる社会」を目指します。
- ⑤「平和で安全安心な日本」を目指します。

特に、地方創生で「三世代が近くで仲良く暮らせる社会」を目指します。

3つの効果

祖父母と近くで暮らすことで、母親世代が子どもを産み育てやすくなり、安心して働きに出られる。更に、子どものしつけも祖父母がしっかりしてくれる。
出生率アップ! 女性が輝く社会の実現! 子どもの教育!

実現するには

都会に出て行った若者も地元で若者もふるさとで働けるよう、
地元で働く場所が必要。

具体的には

中小企業を活性化。海外に出た生産現場を国内に戻す。
若者が稼げる**農業・漁業**を創生。
首都圏等からの**サテライトオフィス**誘致。

総決起大会	12月12日(金)19:00~ 坂出市民ホール	せと隆一(たかかず)プロフィール	【経歴】 平成3年 4月 郵政省(現総務省)入省 平成9年 7月 山陽郵便局長(現本報) 平成15年 8月 若手県幹部本部常務部長 平成22年 7月 総務省大臣官房秘書課課長補佐 平成23年 3月 内閣府被災者生活支援チーム企画官 平成24年 8月 総務省副官 平成24年 12月 衆議院選挙初当選
【生年月日】	昭和40年8月2日生(49歳)	【出身地】	香川県坂出市
【学歴】	昭和59年 3月 香川県立丸亀高校 卒業 平成元年 3月 大阪府立大学 工学部 卒業 平成3年 3月 東京工業大学 理工学研究所 博士		

比例代表も自民党へ



自民党公認

せと隆一
たかかず

安倍政権の暴走ストップ!

消費税増税、集团的自衛権、原発再稼働、TPPなど、民意無視の暴走政治をストップさせましょう。日本共産党とさえき守は安倍政権と対決し、対案を示し、力を合わせて政治を変えます。

消費税

10%への増税はキッパリ中止を
8%への増税強行で、今「増税不況」です。税金は富裕層と大企業に応分の負担を求め、大企業の内部留保を活用し、賃上げ、国民所得増で税収を増やせば、社会保障と財政再建は可能です。

集团的自衛権

行使容認の閣議決定は撤回を
集团的自衛権の行使とは、海外で戦争することにはなりません。私は、海外で戦争する国づくりを許しません。軍事基地をなくし、憲法9条を生かした平和外交を進めます。



企業・団体献金の禁止を! 政党助成金の廃止を!

比例代表は **日本共産党** とお書きください

【さえき守の略歴】 1981年日本共産党入党、84年四国学院大学文学部卒業、坂出市在住、日本共産党香川県委員・西讃地区副委員長。



日本共産党

さえき守 (54歳)

アベノミクス

くらし第一で経済立て直しを

「アベノミクス」で資産家、大企業は大もうけ、庶民は物価高と実質賃金低下で生活は苦しくなるばかり。格差拡大と景気悪化をもたらすアベノミクスにストップをかけます。

農業を守ります

米価暴落をはじめ、農業経営は深刻です。国と県に緊急対策を求めます。TPP交渉撤退、香川の農業と食の安全・安心を守ります。

原発ゼロの日本を

福島第一原発事故は今も12万人余が避難生活。事故の収束も原因究明もできないまま再稼働など論外です。伊方原発は廃炉にし、四国を自然エネルギーの先進地にします。

実現力ならたまき

香川のため、たまき雄一郎がしたこと

- ため池の補修のための国の予算を平成23年度に創設し、予算を増額。
- 香川用水を保全する予算を大幅に増やし、整備を前倒しで実現。
- 高松自動車道の4車線化の着工を実現(平成30年度完成)。
- 坂出港西岸壁の整備や高松港のガントリークレーンの整備を実現。
- 三木町で始まった生活習慣病予防のための子どもの血液検査を全国展開するよう安倍総理に提案し、前向きな答弁を引き出す。
- オリブ牛や希少糖の振興について、国会で初めて取り上げる。
- 瀬戸大橋の島民無料化(櫃石島、岩黒島、与島)を5年連続で国に求め、島民向け料金の値下げを実現し、料金が半額に。
- 県内でも被害者が出た危険ドラッグの規制を強化する議員立法を実現。
- 国立ハンセン病療養所の職員数の削減に歯止め。
- 退所者のご遺族に対する経済的支援制度を創設。

国のため、たまき雄一郎がしたこと

- 厚生労働省の雇用対策事業の問題を国会で指摘し、使う見込みのない70億円の国庫返納を実現。
- 福島第一原発付近の海洋汚染の計測は東京電力だけが行っていたが、客観性を高めるために原子力規制委員会も実施するよう提言し、実現。
- TPP交渉の拠り所となっているコメ、麦、大豆、牛肉、豚肉、乳製品、砂糖の「重要5品目」での国会での決議を提案し、実現。
- 平成24年の和食のユネスコ無形文化遺産登録に尽力し、翌年に実現。
- 小笠原諸島でのサンゴ密漁に対する罰金の引き上げを実現。
- 切り花や盆栽などの「花き」を振興する議員立法を実現。
- 養豚を振興する議員立法を実現。
- 戸別所得補償制度を復活させる議員立法を提出。

まだまだある。やれること、できること。



玉木雄一郎 プロフィール

昭和44年、さぬき市生まれ。高松高校、東京大学法学部、米国ハーバード大学大学院卒業。財務省主計局主査などを経て、平成21年衆議院で当選し、平成24年に2期目当選。衆議院予算委員会、農林水産委員会委員などを歴任。

香川の犬猫殺処分ゼロをめざします!!



たまき雄一郎についてもっと詳しくはWEBサイトから www.tamakinet.jp

衆議院小選挙区選出議員選挙
衆議院比例代表選出議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査

12月 投票日 **14日**

◎投票用紙は次のとおりです。

小選挙区 薄い水色の用紙に黒色のインクで印刷

比例代表 白色の用紙に赤色のインクで印刷

国民審査 薄い桃色の用紙に黒色のインクで印刷

たまき雄一郎